 シラバス年度	2025年度	2025年度 開講キャンパス 都城キャンパス 開設学科				開設学科	環境園芸学科		
科目名称	応用数学 I					7/382 3 11	授業形態	講義	
科目コード	283210	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験担当教員	0	Active·L	
担当教員名	中村 裕文	+1200		BC 3 7 T		入奶油机二当秋泉		ICT活用	
授業概要	1. 講義目標としては測量士補の資格試験の計算技能問題を解くための必要知識の習得とそれら計算問題が解けるようになるこを目標とする。 2. 測量士補の資格試験の計算技能試験の必要知識を掘り下げ、少し深い内容まで扱うことで数学的知識の理解を深められる内も取り扱う。								
関連する科目	測量学I,測量学E割I,測量学実習II								
授業の方法と進め方	て計算方法の確2. 講義毎に演習	電認を行う。 習問題を課し,	それを演習	課題として,成績	績評価に加え)授業を組み合わせて進 -る. ■し対話型で双方向の授			使用
第1回	応用数学Iの概説および距離測量の定誤差の考え方 応用数学Iの前半の概説および距離測量での定誤差の考え方について学ぶ。								
第2回	三角関数と角度の計算(1) 角度とその計算方法について学ぶ。								
第3回	角測量と角度の計算(2) 角度とその計算方法について学ぶ。								
第4回	ユークリッド幾何学の応用(1)閉合トラバース(1) ユークリッド幾何学を利用した多角測量の考え方について学ぶ。								
第5回	ユークリッド幾何学の応用(2)閉合トラバース(2) ユークリッド幾何学を応用した多角測量の考え方について学ぶ。								
第6回	ユークリッド幾何学の応用(3)閉合トラバース(3) ユークリッド幾何学を応用した多角測量の考え方について学ぶ。								
第7回	ユークリッド幾何学の応用(4)結合トラバース(1) ユークリッド幾何学を応用した多角測量の考え方について学ぶ。								
第8回	ユークリッド幾何学の応用(5)結合トラバース(2) ユークリッド幾何学を応用した多角測量の考え方について学ぶ。								
第9回	ユークリッド幾何学の応用(6)結合トラバース(3) ユークリッド幾何学を応用した多角測量の考え方について学ぶ。								
第10回	三角関数とその利用方法。 トータルステーションやGNSSによって得られた座標値から測点測線を設置する方法について学ぶ。								
第11回	水準測量の誤差とその調整 (1) 昇降式。 水準測量の誤差とその調整方法について学ぶ。								
第12回	水準測量の誤差とその調整 (2) 器高式。 水準測量の誤差とその調整方法について学ぶ。								
第13回	水準測量の誤差とその調整(3) 器高式。 水準測量の誤差とその調整方法について学ぶ。								
第14回	水準測量の誤差とその調整 (4) 水準測量の誤差。 水準測量の誤差とその調整方法について学ぶ。								
第15回	水準測量の誤差とその調整(5)交互水準測量。 水準測量の誤差とその調整方法について学ぶ。								
授業の達成目標	1. 講義目標とし	ては測量十額	前の資格試験の	の計算は能問題	+ 477 / + 14 /	いと西知識の羽得しても	こ 計質問題が	切けつ レンニナン	

学位授与方針(DP)との関 連	1.知識・理解を応用し活用する能力 – (1) / 2.汎用的技能を応用し活用する能力 – (1) / 2.汎用的技能を応用し活用する能力 – (2)			
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 ・必要に応じて授業の振り返りを行い,理解を深める。(学習に関わる標準時間は 0.5時間)			
授業時間外学【復習】	〈復習〉 ・授業で課題が課された場合,その課題を作成する。 ・演習課題が返却されたのち,授業の振り返りを行い,理解を深める。(学習に関わる標準時間は 1.5時間)			
課題に対するフィードバ ック	・授業中の演習課題,小テスト,レポートの解答例を提示し,必要に応じて適宜補足説明する。 ・小テスト・レポートは実施後,必要に応じて適宜補足説明する。			
評価方法・基準	評価は以下の計算式により総合的に判断する。 期末の試験(60%)+小テスト(20%)+レポート(20%)			
テキスト	特に指定しない。必要事項は板書やプリント配布によりすべて解説する。			
参考書	基本測量 山之内繁夫ほか編修 実教出版 応用測量 山之内繁夫ほか編修 実教出版 わかる-測量概説(1)~(3) 春日屋伸昌 東京法経学院出版			
備考	特記事項なし			